

名古屋市立大学大学院
経済学研究科
博士前期課程

一般・外国人特別選抜
入学試験
(令和7年度)

スケジュール

博士前期課程	回数	個別資格申請期間	出願期間	入学試験	合格発表
一般・外国人特別 選抜	第1回目	令和6年6月18日(火) ～6月25日(火)	令和6年7月18日(木) ～7月25日(木)	令和6年8月23日(金) 【口述試験】 10:00～	令和6年9月20日(金)
	第2回目	令和6年10月17日(木) ～10月24日(木)	令和6年11月19日(火) ～11月26日(火)	令和6年12月21日(土) 【口述試験】 10:00～	令和7年1月10日(金)

募集要項のポイント

- 募集人数

16名

第1回（令和6年8月23日試験）

第2回（令和6年12月21日試験）

（募集人数は、一般・外国人特別選抜及び学部内選抜における経済学専攻と経営学専攻を合わせた人数）

・出願資格：以下の(1)～(8)のいずれかに該当する者、
および(9)にて資格が認められた者

- (1) 大学を卒業した者又は令和7年3月までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は令和7年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者

・出願資格

(6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和7年3月までに授与される見込みの者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和7年3月までに修了見込みの者

(8) 文部科学大臣の指定した者

・出願資格(個別資格審査)

(9) 本学経済学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに22歳に達するもの

ア 提出書類: 個別審査願(所定用紙)、履歴書(所定用紙)、業績書(所定用紙)、成績証明書及び卒業(見込)証明書。

イ 申請期間: 令和6年10月17日(木)～10月24日(木)[必着]

ウ 審査結果の通知: 審査後、速やかに通知する

※ 審査申請書類の請求・審査申請提出先: 学生課入試係
経済学研究科入試担当

・出願期間及び方法

第2回11月19日(火)－11月26日(火)[必着]
郵送に限る。窓口受付は行わない。

- 封筒に出願書類等を入れ、書留速達で郵送すること。
- 期限までに到着しなかった場合は受理しない。(消印有効ではないので注意すること)。
- 国外から出願する場合は、必ず日本国内在住の代理人が出願手続を行うこと。国外からの郵送による出願は認めない。本学からの通知も代理人あてに行う。

・主な出願書類

☆入学願書・写真票・受験票

☆履歴書

☆住民票(外国籍で在留資格のある者のみ)

☆入学検定料・宛名シール

☆成績証明書・卒業証明書(卒業見込証明書)

・在籍又は出身大学等の長が作成したもの。

・大学院修了(見込)者は、その修了(見込)証明書も提出すること。

・日本語訳(日本語以外で上記書類が作成されていた場合)

☆英語に関する試験・資格等の成績証明書【語学試験】

☆日本語能力試験 N1またはN2合格の証明書

・出願資格 (3) (4) (6)に該当する方のみ

☆志願理由説明書

☆研究計画書⇒後述

主な出願書類（審査書類）

☆研究計画書〔本学所定用紙使用〕

- 800字から1000字程度で記入すること。
- 大学院進学後に行いたい研究テーマに関し、どのように取り組んでいくかについて自分の計画を説明する。
- ワードプロで作成して、用紙に貼り付けてもOK

「専攻・分野系」の記入について

- 出願にあたっては、各専攻や所属教員の研究・教育分野について紹介している「学生募集要項補足説明」を参考にして、7つの分野系の中で第1希望、第2希望を記入すること（希望する分野系が2つの専攻にまたがってもかまわない）。
- 希望した分野系にもとづいて合格発表時に専攻が決定される。入学後の専攻の変更はできない。